

VI 広島市観光施策の概要

VI 戦略と行動計画、おもてなしの観光

広島を訪れる様々な来訪者（ビジターズ）を増やすため、「ひろしまビジターズ・インダストリー（V I）戦略」に市民や企業の皆さんとともに取り組んでいる。

この中で、市民や地域団体、NPO、企業、社会起業家、行政など様々な担い手が主体的に取り組んでいくアクション・プログラムを盛り込んだ行動計画を策定し、都市の魅力づくりや集客力の強化を図っている。

<行動計画の推進方針>

広島がもつ都市の魅力を楽しむために訪れる国内外の来訪者を増加させるため、次の6つの方針で行動計画を推進する。

- (1) 来訪者の視点で都市機能を充実
- (2) 市民が主役の「観光・交流」の促進
- (3) 既存産業の「交流産業」化
- (4) 担い手の意識改革と連携の強化
- (5) 地域資源の「発掘」、「創造」及びプロモーション
- (6) 来訪者の「知りたい」視点で情報発信

この推進方針のもと、具体的な提案として、88のアクション・プログラムを掲げている。

また、広島を訪れた人が「また来てみたい」、「住んでみたい」と感じるような、「おもてなしの観光」を推進する。

都市のにぎわいづくりの推進

1 フラワーフェスティバル開催

花の総合パレード(5月3日)、きんさいYOSAKOIパレード(5月5日)をはじめ、ステージ、ひろばの展開に加えて、「ひろしまストリート陸上」を新たに実施するなど、都心の魅力とにぎわいづくりを創出し、来訪者にとって楽しく魅力的なフラワーフェスティバルとなることを目指す。

- 会 期 平成23年5月3日(火・祝)～5月5日(木・祝)(3日間)
- 会 場 平和記念公園、平和大通りの主会場など
- テーマ 「咲き誇る 花が育む 笑顔と平和」
- 主 催 ひろしまフラワーフェスティバル実行委員会(広島祭委員会の内部組織)

2 ゆかたできん祭(さい)開催

ゆかたを着た来訪者の増加を促進し、夏の風物詩である「ゆかた」をテーマとする「ゆかたできん祭」をより魅力ある祭りにするため、メイン会場となる中央通りを初日と中日の2日間歩行者天国として開放するとともに、「ゆかたで踊りんさい」などのイベントを充実し、ゆかたを着用した来訪者の増加を目指す。

- 時 期 平成23年6月3日(金)～5日(日)
- 場 所 中央通り、袋町公園、東新天地公共広場など市内中心部一帯

3 広島みなと 夢 花火大会開催

市民公募し、自分たちの誕生日、結婚、還暦などを記念するメモリアル花火を打ち上げるとともに、同大会の花火の写真を公募するフォトコンテストを実施するなど、広島のを代表するイベントとして誘客を促進する。

○時 期 平成23年7月23日（土）

○場 所 広島港一帯

4 ひろしまライトアップ事業

広島のを冬の風物詩であるライトアップを、平和大通りを中心に中心部商店街や商業施設などの市内中心部一帯で展開することにより、市民や観光客が広島のを夜の街を散策して楽しめる魅力ある観光スポットを創出する。

○時 期 平成23年11月17日（木）～平成24年1月3日（火）

○場 所 平和大通りや中心部商店街をはじめ市内中心部一帯

「水の都ひろしま」づくりの推進

1 水辺のコンサートの実施（社会実験の実施）

水辺のコンサートを、NPO法人、学校、企業等の参加・協力を得て、春期・秋期の土曜日又は日曜日に、年間17日程度開催する。

○事業主体 水の都ひろしま推進協議会

○実施時期 春期：平成23年4月～7月、秋期：平成23年9月～11月

○実施場所 原爆ドーム対岸親水テラスほか

2 水辺のオープンカフェの実施（社会実験の実施）

国の河川利用の特例を活用した民間事業者による京橋川オープンカフェ及び元安川オープンカフェを継続して実施する。

○実施主体 水の都ひろしま推進協議会

○実施場所 京橋川右岸河岸緑地、元安橋東詰河岸緑地

3 川と海と島を活かした航路の連携（社会実験の実施）

「瀬戸内 海の道構想」と「水の都ひろしま」構想が相互に連携し、川と海と島を活かした航路を連携させるモニターツアーを実施し、観光事業としての有効性や民間事業としての採算性、技術的な課題を検証する。

○実施コース 江田島コース、宮島コース

○実施時期 平成23年10月16日（日）、11月6日（日）、11月20日（日）

4 河川整備事業の推進

「水の都ひろしま」にふさわしい水辺を生かしたうらおいとにぎわいのある都市空間を創出するため、まちづくりと一体となった水辺の整備について、引き続き国、県と連携して取り組む。

観光プログラムの開発と充実

1 広島・宮島・岩国地域観光圏事業

2泊3日以上滞在型観光を促進するため、周辺市町及び観光関係団体と協議会を設置し、地域内での滞在時間を延ばすための旅行商品や夜型観光資源の開発等に取り組む。

○実施主体 広島・宮島・岩国地域観光圏推進協議会

○事業内容

・滞在型旅行商品化事業

観光圏内での2泊3日の滞在が可能となる魅力ある旅行商品の開発を行う。

・観光メニュー充実

夜をそぞろ歩き出来るまちとなることを目指し、原爆ドーム・厳島神社・錦帯橋の同時期連携ライトアップや伝統芸能神楽の実施等、夜の魅力開発に取り組む。

また、食、自然、歴史、文化、産業等地域の多様な資源を活かした魅力ある旅行商品の開発に取り組む。

・魅力ある圏内交通手段の検討

地域内の周遊や利便性の向上に向け、瀬戸内海を中心とした観光ルートの開発・整備に取り組む。

・観光案内、観光発信機能の充実

観光客が地域の観光情報を手軽に手に入れる環境づくりを図るため、観光案内所間の連携の強化及び情報の共有化を図るなど、観光客の利便性の向上に取り組む。

2 湯来地区交流・体験型観光事業の推進

交流体験等の新たな観光ニーズに対応できる受入態勢の整備と旅行商品の開発に取り組むとともに、地域住民がまちの再生に継続的に参画し、地域の力で活力や魅力を向上させる仕組みづくりを行う。

広島情報の発信

1 ひろしま観光情報の発信

広島への関心を高め、観光客をさらに呼び込むため、メディアの活用や市民パブリシストによるPR活動の推進、メールマガジン「ひろしまファンクラブ」の配信など広島の観光情報を発信する。

2 修学旅行誘致の推進

広島への修学旅行生を増やすため、全国の学校等への個別誘致活動や市長、副市長の県外出張の機会を利用したトップセールスの展開、県外からの教育関係者を招へいして平和学習の進め方等の研修を実施するほか、平和関連の学習メニューや島しょ部・山間部での体験学習メニューを充実する。また、広島での平和学習を検討するための視覚的効果に訴える資料等を作成するなど、誘致・PR活動の強化を図る。

○事業概要

- ・全国の学校、教育委員会及び旅行会社に対する誘致・宣伝活動
- ・教育関係者招へい事業の実施
- ・PRの強化

3 インバウンド事業の推進

韓国、台湾、中国、フランス、米国を対象としたインバウンド商品化事業や訪日教育旅行促進事業を展開する。

4 観光クルーズ客船の誘致

国内外からのビジターズの増加を図るため、クルーズ客船寄港時の歓迎イベントや受け入れ態勢の充実に取り組むとともに、船会社やその代理店などを訪問し、クルーズ客船の誘致に努める。

ビジターズの受入環境づくり

1 「ひろしま通」認定試験の実施

広島の魅力ある歴史・文化・自然等に精通したひろしまファンの増大を図るとともに、市民や観光事業者等の観光ホスピタリティを高めることを目的として、「ひろしま通（つう）」認定試験を実施する。

また、認定者を対象に広島に関する知識をさらに深めてもらうため、講演会等のフォローアップ事業を実施する。

○試験実施日 平成23年12月4日（日）

○場 所 広島市立国泰寺中学校

○実施主体 商工会議所、市、広島観光コンベンションビューローで構成する実行委員会

2 観光案内所及び外国人観光客案内窓口の運営

広島市及びその周辺地域を訪れる国内外の観光客に対する情報提供窓口として、観光案内所を設置し、運営する。

○設置場所 ・平和記念公園レストハウス（※）

・JR広島駅南口、新幹線口（※）

・紙屋町地下街（シャレオ）

※は外国人観光客案内窓口